

# じどうしつだより No.55(2006.4発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだえほん

本の情報	内容
<p><b>「あかが いちばん」</b></p> <p>キャシー・スティンスン文 ロビン・ベアード・ルイス絵 ほるぷ出版 2005.11 1108810997</p>	<p>おかあさんったら あかのこと なんにもわかってないんだよ。あかい くつしたのぼうが、ずっとたかくとべるし、あかいぱじゃまは、おばけをおいはらってくれるんだから。わたし、あかがだいすき。だってせかいでいちばんすてきないるだから。</p>
<p><b>「いろはのかるた奉行」</b></p> <p>長谷川義史作・絵 講談社 2005.11 1108805324</p>	<p>「いぬもあるけば ぼうにあたる」などでおなじみの江戸時代にできた「いろはかるた」でも、「いろはのかるた奉行」にかかると、「いぬもあつけりゃ ぼうっとする」に。古典を学びつつ、新しい楽しいかるたを考えてみよう。</p>
<p><b>「おもちのきもち」</b></p> <p>かがくいひろし作・絵 講談社 2005.12 1108819473</p>	<p>たごさくさんちのおもちつきで、かがみもちになったおもち。きょうだいたちは、のばされたり、なっとうまみれにされたり、さんざん。食べられてはたいへんと、すたこらさつさにげだしたのはいいがおなかがすいて…。講談社絵本新人賞受賞作。</p>
<p><b>「こしょうできまり」</b></p> <p>ヘレン・クーパー作 アスラン書房 2005.11 1108803099</p>	<p>ねことりすとあひるがつくるかぼちゃスープ。塩を入れたら世界一おいしいスープになるはず…。3匹はさっそくシティに買いに行くことに。はじめてのシティであひるが迷子になり大騒ぎ。好評「かぼちゃスープ」の楽しい続編。</p>
<p><b>「ポテトスープが大好きな猫」</b></p> <p>テリー・ファリッシュ作 バリー・ルート絵 講談社 2005.11 1108806798</p>	<p>テキサス育ちのおじいさんは、今は年とった雌猫と生活している。この猫の好物はおじいさんの作るポテト・スープ。ある日、いつまでも起きない猫をおいておじいさんは魚釣りに。起きだした猫はスープもなく、おじいさんもいないことに気がつく…。</p>
<p><b>「まいごのペンギン」</b></p> <p>オリヴァー・ジェファーズ作 ソニー・マガジズ 2005.12 1108814047</p>	<p>ある日のこと、おとこのこがドアをあけるとペンギンがいた。ペンギンはまいごなんだ。ペンギンはかなしそうにみえた。ペンギンのおうちはどこだろう。おとこのこはペンギンのおうちをさがす。ペンギンのおうちは南極だ。やっとのおもいでペンギンを南極におくりとどけたけれど…？</p>